

「令和5年度地域課題解決支援事業」成果報告書

市町村名 西尾市

事業名 みんなで集う!!歌う!!踊る!!

1 経緯

きら市民交流センターは、市民の交流促進、地域の活性化、教育・文化活動の推進を目的として、令和3年4月に西尾市吉良町に設置された地域交流センターである。施設設置後、2年を経過し、吉良町を中心にした元気な高齢者の皆さんなどにより、当センターで活動をしていただいているが、比較的、若い世代の利用が少ない傾向にある。また、各団体での活動はしていても、団体間の交流や連携はされていないのが実情である。そこで、当センターにおいて、様々な世代との交流、更に様々な立場の違う多様な方たちの相互理解などが進めば、吉良町全体を盛り上げていく、きっかけづくりになるのではないかと考え、2月に実施する当センターのフェスティバル『きらフェス』において、何らかのイベントができないかと歌唱指導の先生に相談をかけたところ、フェスティバルにおける各団体の発表会のフィナーレに、いろいろな世代、多様な方たちによる歌やダンスなどのコラボレーションで、みんなで一つの作品を作り発表するという提案をいただき、支援事業を受けるに至った。

2 趣旨・目的

＜多世代、多様な立場の方たちの参加による交流と共創＞

きら市民交流センターを拠点として、多世代、多様な立場の皆さんが交流し、発表会やそのための準備活動を通して、共生し、ともに創り上げていく喜びを共有することにより、地域の連携を実感し、地域全体を盛り上げることに繋げるモデルケースをつくる。

3 手段

『きらフェス』の発表会で作品（歌、ダンス、手話のコラボレーション）を披露(令和6年2月17日(土))

4 概要

*手話をとりいれた合唱(・となりのトトロ・さんぽ・しあわせになあれ)

*子供たちのhip hopダンス

*風船を使い、客席と参加者、耳の聞こえない方と歌の振動を共有する

5 実施状況・プロセス

令和5年7月 本事業を実施するにあたり、地元で音楽活動・歌唱指導講師をされている尾崎百合江氏と打合せを行い、『きらフェス』の発表会において、多世代での合唱を考えており、若い世代ではダンスの練習で当センターを利用してくれる若者が多く、また、手話のサークルも定期的な利用があり、その方たちも巻き込んだ演目を考えている旨、説明し、具体的な企画立案と歌唱を中心

に指導していただく総監督への就任を依頼し、了解いただいた。

令和5年8月・9月 尾崎総監督と披露する曲目をはじめ企画案について随時、打合せを行うとともに、歌唱指導の補助者やピアノ伴奏者を選し依頼した。合唱以外にダンスについて、当センターにおいて子どもや若者を中心にダンス教室を展開しているダンススタジオ「Peeps!」及び、当センターで活動している手話のサークル「手話サークル虹」に本事業の企画内容を説明し、趣旨に賛同していただき、本事業への参加を了解いただいた。なお、演目のタイトルは『みんなで集う!!歌う!!踊る!!』とした。

令和5年10月 <10月7日(土)キックオフミーティング>
指導陣(総監督・補助者・伴奏者)、ダンススタジオ「Peeps!」、「手話サークル虹」の3者に加え、愛知県生涯学習センター及び西尾市教育委員会事務局生涯学習課にも出席していただき、事業の趣旨、今後の予定、自己紹介などを主にキックオフミーティングを実施した。
キックオフミーティングの後、施設の利用者を中心にチラシや声掛けにより、合唱への参加者の募集を開始した。

令和5年11月 <11月26日(日)第1回 歌の練習>
参加者が初めて顔を合わせるため、参加者全員で名前、サークル活動、好きな食べ物など自己紹介から始まり、笑いが起こるような楽しい雰囲気の中で和気あいあいと紹介し合った。その後、歌詞音読&発声練習。腹式呼吸、発声の仕方の指導を受けた。全盲の女性の参加があり、急遽、市内の社会福祉協議会に相談したところ、点字ボランティア団体を紹介していただき、点字の歌詞カードを作成することができた。

令和5年12月 <12月10日(日)第2回 歌の練習>
お互いの名前を覚えるために、ニックネームの名札を作成。
「しあわせになあれ」の歌詞の意味を考えながら歌うという指導に苦戦しながらも、少しずつ声ができるようになってきた。「となりのトトロ」、「さんぽ」は軽くステップを踏むので、ダンススタジオPeeps!の先生に指導をしていただき、大人も子どもが元気に歌ってとても楽しい雰囲気だ。

令和6年1月 <1月14日(日)第3回 歌の練習>
今回から歌のサビの部分だけ手話をするので、手話の練習に入った。手話サークル虹の皆さんの指導で練習が始まり、参加者はサビを繰り返し練習した。サークルの方が手話で歌って下さるのを見ていた参加者から、手話でそれぞれの動きに意味があるのがよく分かるといわれ、歌の練習だけではなく、手話の理解にもつながり、学ぶことの多い事業だと感じた。

<1月28日(日)第4回 歌の練習>
当日の舞台想定練習が始まる。総監督の尾崎先生の指示で、子どもたちのオープニング

の練習から始まり、その後大人も合流した。なかなか先生の OK が出ず、やり直したり時間がかかったが、小さい子たちがよく頑張ってくれた。その後歌の練習では、歌詞が覚えられないとのこと、急遽両サイドの壁に貼る大きなカンペを作成することになった。

令和 6 年 2 月

<2 月 11 日 (日) リハーサル>

2 月 17 日の本番に向けて、ツリーなどの大道具や当日使用する風船などを使い、全体流れに従い、歌、ダンス、参加者インタビューなど動きを含めて、最終確認を行った。

<2 月 17 日 (土) 本番>

『きらフェス』発表会において、練習の成果を発表した。事前に施設利用者の皆さんに自身の「しあわせ」について色紙(しあわせカード)に書いていただき、色紙(しあわせカード)は舞台のシンボルとして設置した 2 本のツリーに飾り付けをした。子どもたちによる導入に始まり、子どもから大人まで、更に手話を交えて、「となりのトトロ」及び「さんぽ」を合唱した。ダンススタジオ「P e e p s !」のチームのダンスの披露に続き、尾崎総監督から「しあわせ」についての話や参加者へのインタビューを経て、最後「しあわせになあれ」を全員で合唱した。また、風船を客席の皆さんに配付して、耳の聞こえない人が、風船などの振動から音楽を感じることを体験していただくという試みを行った。

6 スタッフの感想

企画の段階では、尾崎総監督と当センター職員との手練りでのデザインづくりから始まり、協力団体を決め、今後の進め方について多少の不安を感じていたが、10 月のキックオフミーティング以降、尾崎総監督を中心に各団体とも積極的に意見を出し合い、方向性を決めて行った。職員は、少し距離を置き、備品や消耗品などの要望に対応するといったスタンスをとったが、結果的に、参加者同士の積極的な意見調整などが図られ、内容について参加者の考えが融合するような演目になったと感じている。

7 成果

「6 スタッフの感想」において記載したとおりであり、本番は勿論重要であったが、本番に至るまでの参加者同士の意見の調整などを図る中での信頼関係や協力関係の構築が図られたことが、今回の最も重要な成果であったと感じている。また、「手話サークル虹」さんについては、今回の企画を通じて当センターの職員とも話をする中で、『きらフェス』発表会全体について、曲目や演奏内容の紹介など、舞台袖において、各発表団体の MC すべての手話通訳をかって出いただきイベント自体に積極的に参加していただくなど、本企画とは別の意味でも大きな成果であった。

8 課題

今回の企画については、地域課題解決支援事業を受け、当センターから総監督への相談がきっかけとなり、企画自体がスタートし最終的に本番に至ったわけであるが、今後、行政サイドが何らかのトリガーを引くことなく、自然発生的に、様々な結びつきや企画が生まれてくる環境や風土の醸成が課題と考えられる。

9 今後の展望

今回の参加者の皆さんは、平均的に意識レベルが高く、今後も個々の活動の中で、活躍していただけるものと考えますが、今回の企画のように個々を結びつけるきっかけづくりを行政サイドが今後も関わりを持つことにより、新たな結びつきや企画が生まれる可能性があると感じる。今回の参加者を中心として、更に主体的に活動していただける展開を期待したい。

10 職員としての取り組んだことによる学び・気づき

職員は、企画の導入部、関係団体への協力依頼、参加者募集などを中心にかかわり、その後は練習会場の確保や備品や消耗品の調達、実際の内容の検討や調整については、総監督と参加者に、ほとんど委ねたかたちを取ったが、結果的に演目の内容については、参加者の自由な発想が反映される結果となった。職員と参加者との適度な距離感を保つことについて、今後の参考としたいと感じた。

<参加者募集チラシ>

2月17日 きらフェス発表会で
みんなで一緒に歌をうたってみませんか？
「みんなで集う!!歌う!!踊る!!」
参加者募集!!
きらフェス発表会で、歌をうたう仲間を募集しています。歌に手話やダンスを交えた発表になります。歌は苦手…、楽譜読めない…などでも大丈夫です。
どなたでもお気軽にご参加ください。
練習日 11月26日(日)
12月10日(日)
1月14日(日)
1月28日(日)
※練習日の時間はすべて13:30~15:00です
★2月11日(日)(リハーサル)
★2月17日(土)発表会
※時間は未定です
お問い合わせ きら市民交流センター1階 藤原・程田
切り取り線
きらフェス発表会参加申し込み書 令和 年 月 日
氏名 _____ 連絡先(携帯) _____

<練習>





<リハーサル>



<発表会パンフレット>

■□きら市民交流センター■□

「きらフェス」★

第35回
ふれあいの集い

日程:令和6年2月17日(土)・18日(日)

場所:きら市民交流センター(ローソン吉良町役場前店南)

時間:17日:9時~16時 18日:9時~15時

駐車場:交流センター南側、第2駐車場(ローソン北)

旧吉良町公民館・吉良図書館南(砂利) 両者都合18日のみ

京都・白旗保育園、吉田みやこ認定こども園の園児の皆さんが作品を2階ロビーにて展示します!!

きら市民交流センター「きらフェス」は利用団体の方の発表会、作品展示、体験コーナー、各種イベントなどを行います。どなたでもお気軽にご来場ください!

発表会

発表会の当日の発表種や、体験コーナーの開催時間は変更になる場合があります

17日 [9:30~16:00] 2階多目的ホール

番号	団体名	演目	発表時間
1	京華春会	大正琴の演奏	9:30~10:00
2	藍琴の会 きらら	藍琴の演奏	10:00~10:30
3	ギタークラブ	アコースティックライブ	10:30~11:00
4	フラオマナオラナ	フラダンス	11:00~11:20
5	ファーストママ舞の会	フルートとピアノの演奏	11:20~11:45
6	講座: K-pop de ダンス	ダンス	11:45~11:55
休憩			
7	福寿市吹奏楽団	管楽アンサンブル	12:00~12:30
8	ドラムサークル	ドラム演奏	12:30~13:00
9	ハラウオブアメリカ	フラダンス	13:00~13:30
10	Peeps!	ダンス	13:30~14:00
11	手話サークル虹	手話を知らう!	14:00~14:30
12	スベアメント	木管アンサンブル	14:30~15:00
13	ハロハロ	ウクレレ演奏	15:00~15:30
14	みんなで集う!歌う!踊る!	歌、手話、ダンスのコラボ	15:30~16:00

<発表会>





<三河新報R6.2.9>

(3) 2024年(令和6年) 2月9日 金曜日

三 河 新 報

新聞定価1カ月2,000円(うち消費税148円) 1部税込100円

作品展や体験、発表会 きりら市民交流センター

17、18日「きりらフェス」開催

西尾市きりら市民交流センターで17、18の両日、利用者の活動成果を発表する「きりらフェス」が行われる。

旧吉良町公民館で行われてきた「ふれあいの集い」を継承し、通算35回目の開催となる。

利用者の発表会、作品展、サークルによる体験コーナー・各種イベントをはじめ、萩原・白浜保育園、吉田みやこ認定こども園の園児による作品展展示もある。

17日には発表会があり、大正琴やフラダンス、アンサンブル演奏などが繰り広げられる。県の地域課題解決支援事業を活用した「みんなで集う！歌う！踊る！」(午後3時半〜)がフィナーレを飾り、世代を超えて歌やダンス、手話などのコラボレーションで盛り上がる。

時間は午前9時から午後4時(18日は3時〜)の間に合わせ、同センター(電話32-2151)へ。

【作品展(17、18日)】
 マサキル吉良▽手作り作品▽公文書書ききりら▽書道作品▽クラフト作品▽クラフトハンドの作品▽楽団喜会▽絵手紙作品▽吉良スポーツクラブ▽エゴクラフト▽初めてのクラフトハンド▽パスポート(笑い文字普及協会)
 【体験コーナー(当日受け付け分)】▽カラー画用紙でミニ飾り(サイクル吉良) ▽両日午前9時半▽▽お名前レッスン(公文書書ききりら) ▽両日午前10時▽▽自演術(健康治療体験) ▽18日午前9時半▽▽ご書でありがとうを描こうと缶バッチ(白書四ツ葉道場) ▽両日午前10時▽▽フラパン工作・キーホルダー作り(Kiraまちづくり) ▽応援隊はじとび ▽18日午前10時▽▽ありがとうを贈ろうとお名前書き(笑い文字普及協会) ▽両日午前10時▽▽スボーツウェルネス吹矢体験(吉良スポーツクラブ) ▽18日午前10時▽▽囲碁将棋無料体験(吉良囲碁将棋同好会) ▽18日午前10時▽▽健康ツボ押し体験(春風堂) ▽18日午前9時▽▽「イベント」▽茶席 ▽17日午前9時▽350円(当日400円) ▽ロビィdeアソ ▽18日午前9時・10時半・午後0時40分・2時の4回 ▽パルティンショー ▽18日午後0時10分▽▽館内スタンプラリー ▽両日午前9時▽▽ベジチエック測定会 ▽17日午前9時 ▽

一日一書

西尾市 杉山 青苑

緊

ひしひし 緊 緊

強くは迫る様子、緊迫した状態です。意味は色々ありますが、ひらがなで書いているところが多い字ですね。

310日から 愛知

西尾市東幡豆町の児童総合遊園「愛知こども園」で10日から3日間、全世代を対象にした「ロッカリッカ!ふゆの

施設利用者ら活動成果を披露



きら市民交流センターでステージ

西尾市きら市民交流センターと八ツ面ふれあいセンターで17、18日の二日間にわたり、施設利用サークルなどが日頃の活動成果を発表する年度末恒例のフェスティバルが開かれた。

両会場では趣味で楽しむ絵画や手工芸などの習作、力作が並び、来場者の目を楽しませた。きら市民交流センターは17日、大正琴やフラダンスなどの発表会を企画。八ツ面ふれあいセンターの17日の活動発表ではウクレレや詩吟、合唱などのステージがあった。

八ツ面ふれあいセンターでも



手話交えた発表も

きら市民交流センター フェス盛り上がる



京華書会による大正琴で行われた手話通訳

西尾市きら市民交流センターで17、18の二日、利用者の活動成果を発表する「きらフェス」が行われた。

旧吉良町公民館で行われてきた「ふれあいの集い」を継承し、運営高田日之朗氏となる。

17日の発表会では大正琴やフラダンス、アンサンブル演奏などが繰り広げられた。活動紹介で展示、サークルによる体験コーナー・各種イベントをはじめ、萩原・自民共の地域課題解決連携事業を活用した「みんなが楽しく歌おう！」というテーマで、大正琴の演奏と手話通訳が一体となった。京華書会による大正琴で行われた手話通訳もあつた。